このコーナーでは、市工業会・市商工会工業部会会員から応募のあった企業を紹介しています。

いるまの企業 プチ自慢

第12回　比留間運送㈱ 入間工場

住所　中神764の16
☎2934・7474
設立　昭和28年10月

比留間運送の始まり

比留間運送は、昭和28年に武蔵村山市の一般家庭のゴミ収集事業から始まりました。現在は創業時の事業に加え、事業系一般廃棄物処分業・収集運搬業、産業廃棄物処分業・収集運搬業、第一種フロン回収業、解体工事事業など廃棄物処理に関連するさまざまな事業を行っています。入間市には平成12年に進出しました。

入間工場

環境に優しい人工軽量土壌

入間工場では、建物の外壁に使うALC（軽量発泡コンクリート）の廃材を人工軽量土壌に再生する事業を専門に行っています。比留間運送の人工軽量土壌は、木くず（剪定樹木）と動植物性残さ（食品工場等の残さ）を発酵処理した後、粒状にしたALCと混ぜて製造される、廃棄物を100％リサイクルした環境に優しい製品です。栄養価が高く、重量は普通の土の半分なので、ビルやマンションの屋上緑化等に利用され、所沢東部クリーンセンター、東京ドームシティー、歌舞伎座、東京駅、官公庁、日本体育大学、日本郵政ビル、ブリヂストン東京工場、新潟県長岡市の朝日酒造、高坂カントリークラブ、ららぽーと富士見・立川等で使われています。また、動植物性残さを発酵処理した堆肥は市内企業の団体である入間市工業会で毎年実施する緑化推進活動にも使用されています。当社は、人工軽量土壌は都会のヒートアイランド現象を緩和する手段となると考え事業を展開しており、平成22年には全国産業廃棄物連合青年部主催、CO_2マイナスプロジェクト全国大会で「特別賞」を受賞するなど業界でも高く評価されています。

人工軽量土壌

100％リサイクル工場

廃棄物の処理は環境問題の原点です。比留間運送㈱入間工場では廃棄物を100％リサイクルしています。当面は、オリンピックに向けてリサイクルして製造された環境に優しい製品の利用を広めていきたいです。今後も、地域や企業の廃棄物処理の頼りになるパートナーとして事業を展開してまいります。